

京都市 主催, 近畿経済産業局 共催, 京都大学こころの未来研究センター・京都商工会議所 後援

平成23年度「企業向け人権啓発講座」第10回を開催

企業活動を通じて実に多くの人々と関わられる企業の皆様には、日頃から安心・安全な商品やサービス、環境等の提供をいただいているところですが、是非とも、本講座を「改めて気付き、考える機会」として御活用いただきたく、1事業所から複数名の参加も受け付けて開催いたします。

裏面の申込書に御記入のうえ、FAXにより、お申し込みください。

参加費
無料

第10回 講演【申込期間：平成23年12月1日(木)～平成24年2月29日(水) 先着500名】

日時：平成24年3月7日(水) 13:30～15:30

テーマ：東日本大震災からもうすぐ1年

改めて考えよう。生と死を見つめ、今を大切に生きるために

講師：カール・ベッカー（京都大学こころの未来研究センター教授、京都大学大学院人間・環境学研究科教授）

シカゴ生まれ。ハワイ大学哲学博士。諸文化の宗教(死生観・倫理観)を理解し、治療方法・倫理道徳・価値体系等の研究を通じて、「現代の生き方」における日本独自の新しい対応方法の可能性を探索し、生きがい感と自殺防止の関わりをはじめ、こころの支えとなる医療倫理と教育実践の研究指導等を行う。国際教育研究協会(SETAR)から異文化理解賞(1986年)などを授与され、NHK「爆笑問題のニッポンの教養」(2008年)等マスコミなどでも活躍。著書は、「ジャパンズ・ウイズダム～日本の知恵が未来を救う」(2010年英宝社、英語)、「死生観教育の必要性」『ひびきあう生と死～未来を拓くスピリチュアルケア』(2008年 雲母書房、日本ホスピス・在宅ケア研究会編)、「いのちと日本人」(1995年 白馬社、共著)など。

趣旨：講師のカール・ベッカーさんは、「死を考えることは、過去や未来を考え、今を大切に生きることにつながります。『先祖や子孫をはじめ様々なつながりの中に生きている』という日本に育まれてきた発想を根源とする、“いのち”の教育が必要です」と提唱するとともに、現代のストレス過多社会における様々な生き方の研究指導も行われています。

今回は、このような視点から、「消費に偏らない幸福」「死を視野に入れた自己決定権」を中心とする講演を受け、個人の尊厳などについて、気付き、考える機会とします。

生と死を考えさせた東日本大震災からもうすぐ1年。一刻も早い被災地の復興と、活力ある社会づくりに向け、企業として・個人として、自らできること・連携してできることに、みんなで、さらに踏み出してまいりましょう。

京都大学こころの未来研究センターは、“こころ”の総合的研究拠点として、多様な学問分野における専門家が協同し、「こころとからだ」「こころときずな」「こころと生き方」の3領域に関わる学際研究と成果の社会への還元を行っています。詳しくは、こちらを！ <http://kokoro.kyoto-u.ac.jp/jp/about/index.html>

< 会場 >

京都大学百周年時計台記念館 (1階)
百周年記念ホール(京都市左京区吉田本町)

京都大学 吉田キャンパス 本部構内
京大正門をへって、北方向正面の建物

※ 公共交通機関を御利用ください。

< 交通アクセス >

市バス 3, 17号 系統

「百万遍」下車 徒歩 数分

市バス 31, 201, 206号 系統

「百万遍」下車 徒歩 数分

又は「京大正門前」下車 徒歩すぐ



京都市 主催, 近畿経済産業局 共催, 京都大学こころの未来研究センター・京都商工会議所 後援

平成23年度「企業向け人権啓発講座」第10回 申込書 兼 受講票

【申込期間：平成23年12月1日(木)～平成24年2月29日(水)】

講演 日 時：平成24年3月7日(水) 13:30～15:30

場 所：京都大学百周年時計台記念館(1階)
百周年記念ホール【所在地：京都市左京区吉田本町】
御来場の際は、公共交通機関を御利用ください。

先着 500 名
参加費無料

テーマ：東日本大震災からもうすぐ1年
改めて考えよう。生と死を見つめ、今を大切に生きるために

講 師：カール・ベッカー (京都大学こころの未来研究センター教授 ほか)

京都市文化市民局市民生活部人権文化推進課(企業啓発担当) あて

〔FAX番号：(075)366-0139〕

〔お問合せは、電話番号(075)366-0322へ
(平日の午前8時45分～午後5時30分)〕

フリガナ
貴事業所名

所 在 地 _____ (京都市外の場合は※も御記入ください)

業 種 _____

貴事業所の規模を○で囲んでください。20人未満・20～29人・30～49人・50～99人・100～299人・300人以上

※京都市内にある事業所名を御記入ください。 _____

参加者名 _____ . _____ . _____

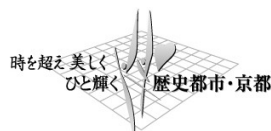
〃 役職名 _____ . _____ . _____

連絡先 電話 _____ FAX _____

御参加の際の必要事項等を○で囲んでください。 _____ 手話・要約筆記・車椅子・補助犬

この申込書は、受講票となります。本講座を受講される際に必ず御持参ください。

【個人情報の取扱いについて】いただいた個人情報は、京都市個人情報保護条例に基づき、他の目的には一切使用しません。



発行：京都市文化市民局市民生活部人権文化推進課

京都市印刷物第234514号